



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月9日
東

上場会社名 株式会社 イントランス 上場取引所
 コード番号 3237 URL <http://www.intrance.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)ディグネジオ・フレドリック・レッツ
 問合せ先責任者 (役職名)管理部 部長 (氏名)北川 雅章 TEL 03-6803-8100
 四半期報告書提出予定日 2022年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第3四半期 | 2,249 | 113.9 | 292 | — | 288 | — | 247 | — |
| 2021年3月期第3四半期 | 1,051 | 130.6 | △451 | — | △632 | — | △634 | — |

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 242百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 △635百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第3四半期 | 6.67 | — |
| 2021年3月期第3四半期 | △17.11 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年3月期第3四半期 | 1,949 | 1,274 | 64.1 |
| 2021年3月期 | 2,911 | 1,033 | 34.6 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 1,250百万円 2021年3月期 1,005百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2022年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2022年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-------|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,469 | 110.0 | 270 | — | 262 | — | 205 | — | 5.54 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2022年3月期3Q | 37,131,000株 | 2021年3月期 | 37,131,000株 |
| 2022年3月期3Q | 60,400株 | 2021年3月期 | 60,400株 |
| 2022年3月期3Q | 37,070,600株 | 2021年3月期3Q | 37,070,600株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの変異型ウイルスの出現等で、長い間継続していた緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等による社会活動、消費行動の制限が、ワクチン接種の進捗が拡大したこと等により、感染拡大が一気に収束し、自粛要請の解除や行動制限の緩和によって経済の回復傾向の兆しが見え始めましたが、新たな感染力が高い変異株の出現により、再び先行き不透明な状態で推移しております。

当社グループが属する不動産業界では、低金利環境下での良好な資金調達環境を背景として、投資家による物件取得意欲は依然高い状況にあるものの、新型コロナウイルス感染症が社会環境やライフスタイルを一変させたことによる社会全体の不確実性の高まりから、引き続き注視すべき状況が続いております。

現在、当社グループが注力するホテル市場におきましては、訪日外国人旅行者の渡航制限によりインバウンド旅行者が完全にストップした状態が続いており、回復の見通しがまったく立たない状況であり、一方の国内需要は、感染拡大の収束により、一時、回復の兆しを見せたものの、変異株の出現により、いまだ安定回復の見通しが立たない厳しい状況が続いております。

このような状況下において、当社グループでは、投資対象とする不動産の潜在的価値を高めたうえで販売を行う「プリンシパルインベストメント事業」、物件ニーズに合った入居者管理を代行するプロパティマネジメントサービスと、不動産物件の賃貸・仲介業務及び、ホテル・宿泊施設等の運営、支援、開発等の事業を行う「ソリューション事業」、また、当社の連結子会社である株式会社大多喜ハーブガーデンで同施設の運営や卸売販売等を行う「その他事業」について、それぞれ注力してまいりました。

この結果、売上高は2,249,574千円（前年同四半期比113.9%増）、営業利益は292,413千円（前年同四半期は営業損失451,085千円）、経常利益は288,259千円（前年同四半期は経常損失632,694千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は247,076千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失634,163千円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(プリンシパルインベストメント事業)

プリンシパルインベストメント事業につきましては、当第3四半期連結累計期間において販売用不動産を4件売却した結果、売上高は1,895,068千円（前年同四半期比207.0%増）、セグメント利益（営業利益）は528,154千円（前年同四半期は265,353千円の営業損失）となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業につきましては、当第3四半期連結累計期間における和歌山マリーナシティの売却により同施設の配当金収入及び賃料収入がなくなり、新規の建物管理の受託に取り組む一方、新たな成長路線としてホテル運営支援等ホテル関連事業の推進に注力しました。

この結果、売上高は200,432千円（前年同四半期比32.3%減）、セグメント損失（営業損失）は46,331千円（前年同四半期は9,820千円の営業利益）となりました。

(その他)

連結子会社の大多喜ハーブガーデンが運営するハーブガーデンにつきましては、近隣の観光施設としてお出かけ需要を取り込む施策が奏功し、ハーブガーデン事業の売上高は、コロナ前の水準を上回るほど順調に推移しましたが、生産卸売事業に関して、外食業界の休業や時短営業等のほか、豪雨や急激な気温変化などによる収穫減で安定的な生産・出荷が行えず、前年実績を下回るなど苦戦が続いております。

この結果、売上高は154,074千円（前年同四半期比11.4%増）、セグメント損失（営業損失）は6,835千円（前年同四半期比は6,939千円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ963,760千円減少し、1,913,224千円となりました。これは主として、現金及び預金が525,572千円増加したものの、販売用不動産が1,329,320千円減少したこと等によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ2,010千円増加し、36,294千円となりました。これは主として、投資その他の資産が4,976千円減少したものの、有形固定資産が7,542千円増加したこと等によるものです。この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ961,750千円減少し、1,949,518千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は前連結会計年度末と比べ1,201,554千円減少し、345,016千円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金が1,011,895千円減少したこと等によるものです。固定負債は前連結会計年度末に比べ1,052千円減少し、329,769千円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,202,606千円減少し、674,786千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ240,856千円増加し、1,274,732千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月20日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 971,079 | 1,496,652 |
| 売掛金 | 40,621 | 33,023 |
| 販売用不動産 | 1,688,247 | 358,927 |
| その他の棚卸資産 | 11,862 | 13,234 |
| その他 | 165,173 | 14,389 |
| 貸倒引当金 | — | △3,002 |
| 流動資産合計 | 2,876,984 | 1,913,224 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 6,181 | 13,724 |
| 無形固定資産 | 3,974 | 3,418 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資その他の資産 | 208,622 | 193,459 |
| 貸倒引当金 | △184,495 | △174,308 |
| 投資その他の資産合計 | 24,127 | 19,151 |
| 固定資産合計 | 34,284 | 36,294 |
| 資産合計 | 2,911,269 | 1,949,518 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 6,047 | 8,265 |
| 前受金 | 191,715 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,068,070 | 56,175 |
| リース債務 | 806 | 827 |
| 未払法人税等 | 7,253 | 51,244 |
| 賞与引当金 | 7,843 | 4,281 |
| その他 | 264,833 | 224,222 |
| 流動負債合計 | 1,546,570 | 345,016 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 323,819 | 326,640 |
| リース債務 | 3,753 | 3,129 |
| その他 | 3,250 | — |
| 固定負債合計 | 330,822 | 329,769 |
| 負債合計 | 1,877,393 | 674,786 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,133,205 | 1,133,205 |
| 資本剰余金 | 903,204 | 903,204 |
| 利益剰余金 | △1,029,312 | △782,235 |
| 自己株式 | △2,476 | △2,476 |
| 株主資本合計 | 1,004,620 | 1,251,697 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 1,104 | △1,262 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,104 | △1,262 |
| 新株予約権 | 26,172 | 24,297 |
| 非支配株主持分 | 1,978 | — |
| 純資産合計 | 1,033,875 | 1,274,732 |
| 負債純資産合計 | 2,911,269 | 1,949,518 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 1,051,609 | 2,249,574 |
| 売上原価 | 958,318 | 1,534,830 |
| 売上総利益 | 93,291 | 714,744 |
| 販売費及び一般管理費 | 544,377 | 422,330 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △451,085 | 292,413 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 39 | 19 |
| 受取保険金 | 289 | 4,899 |
| 為替差益 | — | 3,556 |
| その他 | 4,783 | 4,374 |
| 営業外収益合計 | 5,112 | 12,849 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14,500 | 6,081 |
| 資金調達費用 | 3,351 | 2,689 |
| 契約解約損 | 168,215 | — |
| 和解金 | — | 8,232 |
| その他 | 653 | — |
| 営業外費用合計 | 186,721 | 17,003 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △632,694 | 288,259 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | — | 1,000 |
| 特別利益合計 | — | 1,000 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △632,694 | 289,259 |
| 法人税等 | 1,958 | 44,160 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △634,653 | 245,098 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △490 | △1,978 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △634,163 | 247,076 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) |
|-------------------|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △634,653 | 245,098 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | △667 | △2,367 |
| その他の包括利益合計 | △667 | △2,367 |
| 四半期包括利益 | △635,320 | 242,731 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △634,830 | 244,709 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △490 | △1,978 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、前連結会計年度まで連結貸借対照表の流動負債に表示していた「前受金」は、契約負債として流動負債の「その他」に含めて表示しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当第3四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 調整額 (注)2 | 計 (注)3 |
|-------------------------|--------------------------|---------------|----------|-------------|-------------|-----------|
| | プリンシパル インベスト メント事業 | ソリューション 事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 617,196 | 296,164 | 913,361 | 138,248 | — | 1,051,609 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | 16,410 | △16,410 | — |
| 計 | 617,196 | 296,164 | 913,361 | 154,658 | △16,410 | 1,051,609 |
| セグメント利益又はセ グメント損失(△) | △265,353 | 9,820 | △255,533 | 6,939 | △202,491 | △451,085 |

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業及びハーブの生産事業であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△202,491千円には、セグメント間取引消去△16,410千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△186,081千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 調整額 (注)2 | 計 (注)3 |
|-----------------------|--------------------------|---------------|-----------|-------------|-------------|-----------|
| | プリンシパル インベスト メント事業 | ソリューション 事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 顧客との契約から 生じる収益 | 1,895,068 | 163,076 | 2,058,145 | 154,074 | — | 2,212,219 |
| その他の収益 | — | 37,355 | 37,355 | — | — | 37,355 |
| 外部顧客への売上高 | 1,895,068 | 200,432 | 2,095,500 | 154,074 | — | 2,249,574 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 4,500 | 4,500 | — | △4,500 | — |
| 計 | 1,895,068 | 204,932 | 2,100,000 | 154,074 | △4,500 | 2,249,574 |
| セグメント利益又は損 失(△) | 528,154 | △46,311 | 481,822 | △6,835 | △182,573 | 292,413 |

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業及びハーブの生産事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△182,573千円には、セグメント間取引消去△4,500千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△178,073千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。